

春  
夏  
秋  
冬

23

# 2007 四季のコンサートだより

2007年10月1日発行

浜松音楽友の会

事務局 〒430-0904 浜松市中区中沢町44-11

電話連絡 (053)473-3579(原)

e-mail: hamatomo@palette.plala.or.jp  
http://www6.plala.or.jp/hamatomo/

## 自然と共に楽しむ夏の音楽祭

ピアニスト 児玉 桃

6月にピアノの街浜松で演奏させていただきましたこと、  
今も楽しく思い起こします。

早いもので今年もすでに半年が過ぎようとしています。  
私にとって、緊張が続くコンサートシーズンから、別の  
雰囲気味わえる音楽祭シーズンに入る時期です。都会  
から離れた自然の中でバカンスを楽しんでいるお客様  
と、暑い日ざしを浴びながら、のどかな雰囲気に包まれ  
て音楽を分かち合うのです。

私の住んでいるフランスには、数え切れないほどの夏の  
音楽祭があります。普段はなかなかスケジュールの合わ  
ない音楽仲間たちが集まって、教会などで自由に音楽を  
創ったり、ミニ・フェスティバルのようなものをあちこち  
で行います。私は今年の夏、まずフランスに飛び、ラ・  
ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバルに参加しま  
す。この音楽祭は、小さな村にある大きな公園の中で1ヶ  
月ほど行われるもので、アルゲリッチ、ポリーニ、リヒ  
テルといった錚々たるピアニストたちが無名な頃から参  
加していて、“ピアノのメッカ”と言われるほどです。  
舞台は池の上にセットされ、池の岸に段になった2000席  
の客席があって、毎晩ほぼ満席になる盛況ぶり。音楽祭  
が用意した虫除けスプレーを手足につけた後、ピアノの  
音に聴き入ります。そこに時々鳥の鳴き声が混じるので  
すが、私が昨年メシアンを弾いた時は、消え入るような  
静かな最後の部分を弾き終わった後、鳥も、虫も、聴き  
入っているような、息を飲むような静寂に包まれました。

また、2年前のリサイタルの途  
中では、普段めったに降らない  
雨がポツポツと……。中断しよ  
うか、どうしようかと迷ってい  
たら、お客様が「続けて！」と  
叫んでくださって、そのまま最  
後まで弾き続けました。雨はだ  
んだん激しく嵐のようになりま  
したが、お客様は皆、音楽祭ス



スタッフが急遽配ったレインコートを着て、雨に打たれな  
がらも全員最後まで聴いてくださったのです（演奏中の  
私とピアノは、幸いな事にステージ上の屋根に守られて  
いました）。終演後お客様は大喜び。こちら雨の中最後  
まで聴いてくださったお客様に、舞台の上から拍手を贈  
りました。この出来事はとても話題になり、翌日の新聞  
“ル・モンド”紙上でも大きく取り上げられました。  
この後、私はサンフランシスコへ飛び、ピアニストの姉  
（麻里）が、数年前からご近所の方々のために作ったフェ  
スティバル“Forest Hill Musical Days”で演奏します。  
毎年テーマを作っていますが、今年は“ロシア”。姉をは  
じめ、素晴らしいピアニスト、イゴール・ラスコや、チェ  
ロのアドリアン・ブレンデル等と一緒に、ロシアの作曲家  
中心のプログラムを演奏します。また、最近デュオを始  
めたサンクト・ペテルブルグ出身のヴァイオリニスト、ド  
ミトリー・マクティンとプロコフィエフ等を弾きます。  
この音楽祭を終えると又日本に戻り軽井沢へ。今年初め  
て開催される“軽井沢8月祭”でリサイタル、連弾等を予  
定しています。メシアン作曲の“軽井沢の鳥”は大好き  
ですが、本当にここの鳥は曲の中ののように鳴くのでし  
ょうか？

8月には、武生音楽祭にも参加しますが、お寺が沢山ある  
土地柄で、外国育ちの私には古い日本の文化に触れるこ  
とはとても興味深いことです。それが終わると、パリ  
へ。世界一周した事になりますが、9月のパリはマロニエ  
の葉の色が茶色くなり、そこでようやく、次のシーズン  
の準備や、小さな私なりの“夏休み”をパリの自宅でと  
ります。皆様も素敵な季節をお迎えください。又、浜松  
の皆様にお会い出来る日を心から楽しみにしています。



「夏のコンサート」6月1日



## きっかけ

先日はこのような素晴らしい機会を頂きありがとうございました。そして、自分が高校まで生活していた地元浜松で歌うことができ、とても幸せでした。

今思えば、自分が初めて音楽に興味を持ちだしたのは小学校のブラスバンド部の時でした。その頃はトランペットの音が英雄のようでとてもカッコよく、自分も上手に吹けるようになりたいという気持ちで入部し、そのまま高校までトランペットを専攻し、いつかはオーケストラでトランペットを吹きたいと思っていました。その頃はまさか今のような歌の道に進むとはまったく考えていませんでした。どちらかというとオペラや声楽はあまり好きではなく、ポップスやピアノやオーケストラの方に興味がありました。多分、聞き慣れない外国語の言葉の意味も分からないし、そのため、何を歌っているのかもよく分からなかったからだと思います。そんな状況の中、



「浜松出身の演奏家シリーズ」7月21日

声楽家 平尾憲嗣



高校3年の時に副科で声楽を始め、三大テノールのビデオを見て深く感動したのがこの道に進むきっかけだったのかもしれませんが。字幕がついていたので歌の意味もよく理解できて、そしてなんととってもバヴァロッチェの声が圧倒的に良かったのを今でもよく覚えています。とても明るくて艶のある美声でした。

今回の演奏会では、自分が声楽に興味を持ちだしてから、更にもっと好きになって行くきっかけとなった曲を選びました。声楽を勉強する時、ほとんどの場合、まずはイタリア古典歌曲集から勉強していくのですが、その次の段階でトスティの歌曲をもらった時はとても嬉しかったです。なぜなら、とても単純な理由なのですが、三大テノールでのバヴァロッチェが歌っていたブッチーニの曲の魅力ある音楽にとってもよく似ていたからです。この魅力を言葉で説明するのはとても難しいですね。それからというものトスティの魅力に惹かれ、彼のいろいろな歌曲を教材にしてレッスンに持っていきました。今もこの魅力に惹かれ続けているところです。

ところで最近では、「のだめカンタービレ」がドラマで放映されたりして、クラシック音楽自体がとても身近な存在になってきたように思います。今回の演奏会を通じて、声楽のさらなる魅力を皆様感じていただけるきっかけになりましたらとても嬉しいです。

## ドライブ中の楽しみ

ドライブ中に聴くCDは、高木綾子(フルート) 福田進一(ギター)の「ブエノスアイレスの雲」からと決めています。昨年6月の例会でお二人のデュオリサイタルの素晴らしさに感動しました。あふれるほどイメージいっぱいの表現をするフルートを、要所要所でサポートしていくギター演奏からは、やや気ままな娘の成長を大きく見守っている父親のようなほほえましい気分が伝わり、一層印象深くしています。

ダイナミックなフルート演奏の次は、佐藤美枝子のコロラトゥーラソプラノです。「ルチア狂乱」を聞くことにしています。あの小さな身体で、世界に居並ぶ大柄な人とのコンテストで世界1位を獲得した抜群の実力の持ち主、これが天使の声と言われる訳、などとイメージしな

友の会会員 邑田 啓

がら、ドライブするのも楽しみのひとつです。年を重ねるにしたがい、感動感激する機会が次第に少なくなってきましたが、美しく魅力的な森麻季(NHKトップランナーで再認識)、二期会マイスタージンガー(若いころを思い出して楽しい気分で帰途に着く)をはじめとして、コンサートに行くたびに家族共々充実したひと時を過ごしています。

今年は「千の風になって」のヒットや、TVの「のだめカンタービレ」の影響で、クラシックムードが一層ひろがってきているように思います。嬉しいことです。最後に「四季のコンサート」の役員の方々には大変お世話をおかけいたしますが、今後ともよろしく願いいたします。



# 十年目の四季のコンサート

中学1年 佐藤 馨

僕が初めて四季のコンサートに出掛けたのは、一歳か二歳の頃だと聞いています。ただし、居場所はホールではなく、2階の保育室。客席に座らせてもらえるようになったのは三歳を過ぎてからで、その時の誇らしい気持ちを覚えています。そう言えば、未就学児が入場できる（静かに聴いていられれば）のも、「浜松音楽友の会」ならではです。

小さい頃は、演奏が始まるや寝息をたて、休憩になるとロビーを走り回っていた僕も、近頃では演奏にぐっと集中できるようになりました。四歳から始めたピアノが、今ではもう苦痛ではなく、楽しみになっています。あこ

がれの大曲を（先生に内緒で）弾いています。又中学では弦楽部に入部し、ヴァイオリンを始めたところで、ピアノ以外の楽器にも関心が広がっています。

今思えば、僕の音楽への愛着は、ここで育てられた気がしています。そして最近特に印象に残った演奏会は、小菅優さんと森麻季さんです。小菅さんの「熱情」は、その音楽の大きさに圧倒されたし、森さんのつややかな声は最後まで響いて、会場が一体となりました。この超人気者の二人をよく呼んでくださったと思います。これからも毎回のプログラムを楽しみにしています。

## これからのコンサート予定

秋

カール・ライスター クラリネットリサイタル

10月14日(日) 6:45 PM

ピアノ：土居 和子

ドイツが生んだ世界の名クラリネット奏者。弱冠22歳よりベルリンフィルの首席奏者を務め、「ベルリンフィルの顔」としてカラヤンサウンドを支えたスタープレイヤー。完全無欠のテクニックを表して、ドイツ皇帝にちなんで「皇帝」と呼ばれる程の人気と実力を博しています。演奏活動50周年を迎え、更に円熟味を増すクラリネットの巨匠の重厚華麗な世界をどうぞお聴き逃しなく！



### プログラム

R.シュトラウス/ロマンズ

シューマン/幻想小曲集 op.73

シューベルト/「美しき水車小屋の娘」D.795より 好奇心の強い男/どこへ  
涙の賛美 D.711  
セレナード「聞け、聞け、ひばりを」D.889

シューマン/幻想小曲集 op.12より「飛翔」(ピアノ・ソロ)

シューベルト/即興曲 op.90より 第3番 変ト長調 (ピアノ・ソロ)

マスネ/タイスの瞑想曲

メンデルスゾーン/クラリネット・ソナタ 変ホ長調

ベートーヴェン/アデライーデ

冬

緑川まり & 三原 剛 デュオリサイタル

12月5日(水) 6:45 PM

ピアノ：緑川 るみ

日本を代表する二人のオペラ歌手による華やかなプログラム。リリカルからドラマチックまで幅広い表現力で目覚ましい活躍を繰り広げる気鋭のソプラノ緑川まりと、歌曲のみならず、その豊かで気品あふれる美声と演技力でオペラ界でも絶賛を博しているバリトン三原剛との豪華な歌の競演をお楽しみ下さい。



緑川 まり



三原 剛

### プログラム

山田耕筰/赤とんぼ

ワーグナー/歌劇《タンホイザー》より

岡野貞一/ふるさと

「夕星の歌」

「厳かなこの広場よ、ふたたび挨拶を送る」

小林秀雄/落葉松

ヴェルディ/歌劇《トロヴァトーレ》より

越谷達之助/初恋

「私の願いを聞いてください～おお、この喜び」 等



**春** 天羽明恵(ソプラノ) & 仲道郁代(ピアノ) デュオリサイタル 4月19日(土)

超絶的なコロラトゥーラとリリックな声を併せ持ち、内外で高い評価を得ている期待のソプラノ天羽明恵と、デビュー20周年を迎え、今や人気実力ともに日本を代表するピアニスト仲道郁代との華麗なる夢の共演。シューマンの作品に焦点をあて、その生涯や人柄、作曲の背景などの楽しいトークを交えて、魅力満載のコンサートをお届けいたします。

**夏** 古部賢一(オーボエ) & 野原みどり(ピアノ) デュオリサイタル 6月27日(金)

柔らかく甘い音色、確かな様式感、優れた音楽性によって新日本フィル首席奏者のみならず、日本のトッププレイヤーとして大活躍のオーボエ奏者古部賢一が、クリアな音色とスケールの大きい音楽作りに定評のある実力派ピアニスト野原みどりと組んで、極上のアンサンブルをたっぷり聴かせてくれます。新しいオーボエの世界をご堪能ください。

**秋** パウル・グルダ ピアノリサイタル 10月予定

9日(木)

1961年ウィーンに生まれ、8歳よりピアノを始める。パウル本人によれば、最初の師は世界的なピアニストである父のフリードリヒ・グルダであり、彼により音楽の方向性が決定付けられました。その後、ルドルフ・ゼルキンからも音楽の真髄を学び、独特の芸術性を確立しています。現在、後進の指導にも力を注ぎ、多くのマスタークラスを開催しながら、ソリスト、室内楽奏者、作曲家として世界各国で活躍しています。芳醇なウィーンの薫りをお楽しみください。

**冬** ミラノ・スカラ弦楽合奏団演奏会 12月予定

4日(木)

世界に冠たるイタリアオペラの殿堂、ミラノ・スカラ座オーケストラメンバーによる13名の精鋭によって結成された弦楽アンサンブル。1976年の結成当時、世界の音楽界に大反響を起こしました。艶やかで明るい音色、豊かなカンタービレ、爽快なアレグロ…など、歌心あふれるイタリアの弦楽アンサンブルの魅力をたっぷり聴かせ、友の会25周年にふさわしい豪華なプログラムになることでしょう。

浜松出身の演奏家シリーズ

今仁喜美子 ピアノリサイタル 7月20日(日)

浜松市立富塚中学校、桐朋女子高等学校音楽科、同大学音楽学部卒業後、ドイツ国立デトモルト音楽大学に留学、国家演奏家資格課程にて最優秀の成績で卒業。全日本学生コンクール小学校、中学校の各部入選。GWK芸術賞コンクール音楽部門第1位(ドイツ)。ヨーロッパ各地、ロシア、日本で数多くのソロ、室内楽、デュオリサイタルなどに出演し、絶賛されている期待の若手ピアニストです。

各回共 於：はまホール

★会員の皆様へのお願い★

会員日より 皆様のご寄稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内で、テーマは自由です。

会員登録は、年度が変わってもそのまま継続されます。

退会希望の方は、ハガキに住所・氏名・電話・会員番号をご記入の上、前年度の12月末日迄に、事務局宛に退会の旨をご連絡ください。

名義変更の方は、ハガキに旧会員と新会員の住所・氏名・電話・会員番号(旧会員の)をご記入の上、事務局宛にお送りください。

保育室ご利用の方は、コンサートの前日までに、岡本 ☎053(466)5417 までお申込みください。

開場時(開演30分前)から終演までお預かりします。1回500円です。

●インタビュー・花束贈呈係を募集しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

— 個人情報の取り扱いについて —

当会は個人情報の取り扱いについて「個人情報の保護に関する法律」及びその他の関連法令及びその他の規範、ガイドラインを遵守し、個人情報について適切な管理・取り扱いと保護に努めます。